

(外部用)

日本代表・将来の日本代表選手のために

～日本代表の仕組みと責任～



日本デフバスケットボール協会 理事長 佐知 樹一郎

①日本代表決定の正式な流れ

1>JDBA(日本デフバスケットボール協会)

- ・日本代表選考を実施。
- ・選考終了後、選手スタッフと「日本代表契約書」を締結。
- ・推薦調書を添えて、全日本ろうあ連盟へ正式に推薦。

2>全日本ろうあ連盟(派遣委員会) **最終派遣決定機関**

- ・JDBAからの推薦を受けて「デフリンピックに関する誓約書」を締結。
- ・デフリンピックに関わる「派遣協力依頼書」を作成し、
ICSD(国際ろう者スポーツ委員会)へ登録手続きを実施。
- ・これにより、日本代表選手団として正式決定。



①日本代表決定の正式な流れ

3>当協会としての立場

当協会は、全日本ろうあ連盟と当協会の日本代表との連絡の橋渡しとなり、国際大会に関する通知・調整・報告などを双方と連携して行います。

また、どうしても意見を述べたい場合や制度・運営方針について議論したい場合は、**全日本ろうあ連盟の理事として参画し、正式な場で議論することが適切な手段** となります。



②日本代表の役割と責任

- 1>「日本代表」とは、大会出場者であるだけでなく、
日本のデフスポーツを象徴する公式な代表者です。
- 2>派遣依頼書や派遣協力依頼書の内容
 - ・国際大会出場
 - ・全日本ろうあ連盟主催の指定研修会(アンチドーピング・マナー講習等)
 - ・各地での講演会・講習会(デフバスケ体験)・表敬訪問 など

→これら全てが日本代表の活動範囲に含まれます。
- 3>当協会は、選手スタッフが家庭や仕事を持つ中で活動していることを
十分理解しています。しかし、代表として選出された以上、
全活動への協力と責任ある行動 が求められます。



③研修会の目的と重要性

1>2025年8月26日 全日本ろうあ連盟オンライン説明会

- ・「今後のスケジュール」を全団体へ正式に通知。
- ・速やかに男女チームリーダーを通じて、全選手スタッフへ周知済み。

2>「日本代表選手団オンライン説明会」配布資料により

- ・10月22日「アンチドーピング講習会」
- ・10月29日「マナー講習会」
- ・**全日本代表選手団員 要出席** と明記。

3>約2ヶ月前から案内していたにも関わらず、

会社への説明や勤務調整を行っていない例が見られました。

これは**代表としての自覚・責任を欠く行為** であり、強く指摘せざるを得ません。



④研修会に関する一部選手からの意見および対応方針

- 1>男子代表選手から「研修会参加が難しい」という意見や申し出があり、
理由書は10月16日付で全日本ろうあ連盟へ提出済み。
- 2>**判断権限**はJDBAではなく、全日本ろうあ連盟の**派遣委員会**にあります。
(ペナルティの有無や理由の妥当性を審査)
- 3>**当協会の立場としては、**
 - ・「派遣協力依頼書」は大会以外の代表活動も含む。
 - ・各自が覚悟を持って代表として選出されている。
 - ・勤務先(所属先)の理解を得られない場合は重大な課題である。
 - ・ペナルティ内容の明示を求める姿勢は全日本ろうあ連盟との信頼を損なう。
 - ・こうした申し出自体が派遣判断の妥当性に疑義を生じさせる。



⑤契約上の規定(抜粋)

1>第25回デフリンピックに関する契約書 第4条より

任命から大会期間中、以下に該当すると

派遣委員会は任命取消を行うことができる。

- ・医学的な理由で派遣が困難な場合
- ・規律を守らない場合
- ・**指定した研修を受けない場合**
- ・日本選手団本部の指示・決定に従わない場合 など

→ これらは「契約違反」とみなされ、派遣取り消しの対象 になります。



⑥まとめ

- 1>「日本代表」は大会に出る“選手”であると同時に、
日本のデフスポーツの“代表者”です。
- 2>個々の事情を尊重しつつも、**全体の信頼を守る行動**が求められます。
- 3>JDBAは、将来の代表候補たちが誇りと責任を持って活動できるよう、
明確な制度とサポート体制を整えていきます。

